

オン タイム 音time

野畑小学校 音楽室より

2021.2.19

No.9

合奏の授業の新しい形

下の写真は6年4組の音楽の授業の様子です。iPadを開いて何やらやっています。よく見ると、イヤホンをしている子もいます。という、よくわからない状況の英語ルーム（第二音楽室）。一方音楽室では…。指揮者に合わせて、それぞれが楽器を持って合奏をしています。



どちらも同じクラス、同じ時間の合奏の授業です。子どもたちがiPadで聴いているのは、練習用の音源です。旋律なら旋律、伴奏なら伴奏と、それぞれの担当するパートの音を大きめに録音したものを作りました。それを聴きながら練習シートで指の確認をし、自分の演奏するパートの大まかなイメージをつかみます。「だいたいできるようになったかな～」というタイミングで音楽室へ。

音楽室では、練習用の音源を流しながらひたすら合わせます。カラオケのような形で、慣れるまでは音源に合わせて練習します。合わせてみて、もう少し練習が必要だと思ったら再び英語ルームへ。スムーズにできるようになったらまた音楽室で合わせる練習を。一人一台配布されたiPad、音楽ではこのような形で活用しています。

2 / 5 (金) ノバフェス

2月5日（金）に行われた、ノバフェスの様子です。今年はクラスごとではなく、各委員会でお店を出しました。5年生から始まる委員会活動ですが、おためしでノバフェス期間だけ4年生も参加しています。学年の壁を越えて、協力しながらやっている姿が素敵でした。

音楽委員会は体育館で「野畑音楽商店街」という名前で出店しました。

イントロクイズのコーナー

音楽委員会の子がピアノで弾く曲のタイトルを当てます。生演奏です。



楽器作りのコーナー

ペットボトルやティッシュ箱など、身近にあるものを使って楽器を作ります。



音符的当てのコーナー

ドレミの的にボールを当てると、音楽委員会がベルでその音を鳴らしてくれます。



カラオケのコーナー

音楽委員会の生演奏に合わせて歌ったり、一緒に打楽器を演奏したりします。



時間的に全部のお店は回ることができませんでしたが、どの委員会も工夫が見られて面白かったです。役員会の小まめな声掛けもあり、みんなソーシャルディスタンスに気を付けて動くことができていました。楽しい一日でした。

W. D. H～わりと どうでもいい はなし～ 人の話を聞かない少年の話

タイトルを見て自分のこと？と思った人、うちの子のこと？と思った保護者の方、安心してください。ちがいます。

一人一台の携帯電話が当たり前になりつつある昨今ですが、我々の小学生時代にはそんな便利なものはなく、友だちに用事がある時は一家に一台の固定電話に電話をかけ、たいてい最初に電話をとるお母さんを経由して友だちに取り次いでもらうのが常でした。好きな子の家にかける時はドキドキしたものです。

小学生高学年の頃、仲のいい林田くんという友だちがいました。林田くんと私は自由帳に書いた自作のキャラクターを見せ合ったり、架空の歴史上の人物でしりとりをしてゲラゲラ笑い合ったりと、若干マニアックな遊びを楽しむ仲でした。そんな林田くんに何かの用事で電話をかけたある日のこと、私は要件を伝えた後、いつものようにどうでもいい話をべらべらと一方的にまくらしてていました。そう、人の話を聞かない少年というのは私のことです。

ひとしきりくだらない話を電話の向こうへ垂れ流し、最近できたばかりの自作の歌を披露したあたりで林田くんが一言も言葉を発していないことに気付きました。どうしたん？ノリ悪いやん的なことを言うと、返ってきたのは「あの、姉です…」

その後どうやって電話を切ったのか覚えていません。